



HONGO PRESS 08 ...2017.Mar



第三期ベトナム人実習生開校式



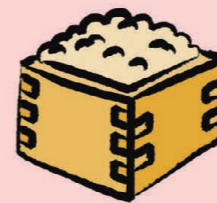
新しい仲間3名、元気な姿で出席

ベトナムから本郷工業の新しい仲間3人が1月25日、大阪府守口市の実習生研修施設にやって来ました。同日開かれた開校式にはスーツを着て、元気な姿を見せていました。弊社からは田坪、安達の両代理人などが出席し、実習生を迎えました。実習生たちは一ヶ月間、ここで日本語や日本文化、生活習慣などを学び、弊社にやってきました。本郷工業で土木事業の技術を習得し、無事に実習期間を修了されることを期待しています。これで本郷工業の実習生は3期計9人となりました。



「鬼は一そと、福はーうち」の声高らかに！

二月の節分、恒例のイベント「豆まき」を京都・伏見稲荷大社で実施しました。弊社では毎年、福男、福娘として、年男、厄年にあたる従業員を中心に参加しています。今年は11人が「おには一そと、ふくはーうち」と声高らかに祈願。自分の中の鬼を退治し、仕事の福を呼び込みました。



有限会社本郷工業
[草津施工管理本部] 〒520-0058 滋賀県草津市野路東 6-3-4 プレジオ 3 1F
TEL.077-566-8200 FAX.077-566-2234
[近江八幡営業所] 〒523-0893 滋賀県近江八幡市桜宮町 206-23 プレジオ 5 5F
TEL.0748-43-2117 FAX.0748-43-2118
MAIL.hongo@pop.biwako.ne.jp HP.www.hongou-i.jp



😊 笑顔コンテスト開催中！ 😊

「お客様の最高の笑顔が私たちの喜びです」

本郷工業の一員として、お客様や工事現場近隣の方々との信頼関係を確かめるスナップショットを期待しています！実施期間：2017年3月から12月まで。



現場代理人
田中裕行 (44歳)

若手へ「常に改善」伝えたい

四十歳前の再出発 人生変わった



40歳を目前に本郷工業に入社した。若い仲間の中で最年長の一人。社内ではみんなが「兄キ」「兄キ」と田中を慕う。いつもニコニコ。愛嬌ある笑顔がトレードマーク。仕事に対しては昔気質で人一倍厳しい。仕事でミスをした部下が頭を丸めた。翌日田中も丸坊主。「部下のミスは自分のミス」。そんな本郷工業の「兄キ」の人となりを紹介する。

松田との出会いと 刺しゅう入りの作業着

十代のころから色々な職場を転々とした。最初の仕事はガソリンスタンド店員。長くは続かず、大工見習いに。ホストになった。人とぶつかる。媚もふれない。一人でできる仕事に就いた。車で移動式パン屋。これも続かなかった。高速道路の夜間工事。そして配管工の仕事に。初めて土木の仕事を覚え、この頃、職場で現本郷工業代理人で、当時18歳の松田晋治と出会った。



「人よりスコップが大事」。そんな会社だった。それが我慢できなくて独立した。特攻服のように背中に刺しゅうが入った作業着にノーヘル、くわえ煙草でガス管を触っていた。近隣住民が現場に近づけば「入るな、こらッ」と怒鳴りつけた。「そんな業界で、それが当たり前と思っていた」と田中は振り返った。

「いい人間になりたい」

本郷工業に入社を決めたのは松田の誘いと、社長本郷智也の姿だった。「兄キ、また一緒に仕事しよう」。田中を慕う松田の誘いは半年に及び、いつの間

にか本郷工業の会議に出席するようになっていた。「当初は嫌々だった」。会議で社長の発信する高い目標や、どんな小さなことでも有言実行する姿、家族が一番大事だという姿勢に触れて、「いつの間にか、こういう人になりたい。どうしたらなるのか」と思うようになっていった。

邪魔くさいことを 率先してするべし

本郷工業に入り「性格までも変わってしまった」と田中は笑う。人が邪魔臭く感じることを、後回しにしがちなことを率先してする。「週一回は近隣住民の方に工事の進捗を伝え、『クレ

ームありませんか」と声をかける。これだけで、他の同業者から頭一つ抜けることができる。簡単でしょ」。現状に満足せず、常に改善を追いかけていく。「このことを社長から教わったし。私も若い人に伝えていきたい。それが次の仕事につながるのだから」

男二人暮らし 息子から教わったこと

昨年末、田中家に双子の女の子が誕生した。出産前後の約二か月、妻・愛さんが入院。田中はまだ二歳の長男・亮太と二人きりの生活を選んだ。二歳児は反抗期。言うことを聞いてくれない。毎朝、幼稚園に、仕事に

遅れそうになった。腹も立った。仕事を終え、息子とともに高速を一時間かけて病院へ。夜遅く家に戻る。家に着けば、息子は「ママにもういっぺん会いに行くと」。それができないことを二歳の亮太に伝えた。息子がそれを受け入れるまで、車の中で待った。「人から大変やなって言われたが、一番大変だったのは亮太。一番頑張っていたのは亮太。心尽くして伝え、耐えて『待つ』ことの大切さを、息子から教えられた。本郷工業に入って人生は変わった。双子の娘も授かった。「家族五人でデイズニーランドが夢。亮太のお嫁さんを見るまで頑張りますよ」

妻・愛さん



家族からの メッセージ



仕事優先だった人ですが、長男の亮太が生まれてから、優しくなりました。出産後、私が出ることになったとき、一緒にいてきてくれるし、仕事を休んでくれることもある。家族のことを一番に優先してくれるようになりました。体には十分に気を付けて仕事頑張ってくださいね。

The key person for Hiroyuki Tanaka



松田晋治 (39)
現場代理人

田中とは18歳のとき配管工事で出会ってからの付き合い。当時から人を束ねていく人だったし、周囲に気配りができる人だった。先に本郷工業に入っていた私から「来てください」と誘った。この業界で一番の会社になれるように一緒に頑張っていきたい。兄キ、ありがとう。これからもよろしく。

NEXT PRESS

若手現場代理人として活躍する谷口忠史 (29) です。ぜひ、次号をお楽しみに!

HONGO PRESS とは

「人こそ会社の財産、文化、未来」これは弊社の信念です。緑あつて弊社で働いている社員ひとり一人の姿、人となりをみな様に紹介することは、弊社の姿をみな様に知っていただくことと同じです。その役割をこのプレスは担っています。

筆者紹介: 住田崇(すみだ たかし)
元京都新聞記者。
民泊管理運営代行・WEB制作会社
(株)スタートレック KYOTO
代表取締役。京都市在住。

プロフィール

1972年11月28日生
出身地 滋賀県大津市
家族 妻・愛さん、長男・亮太くん(2)
双子の長女・喜結ちゃんと次女・芽結ちゃん(二ヶ月)の五大家族。
社歴
2012年春、本郷工業入社。☆☆の現場代理人。入社当時から現場代理人として活躍してきた。現在、☆☆☆現場代理人を目指して、解体事業の責任者として奮闘中。

笑顔コンテスト

本郷工業の現場代理人にとって、日常業務を評価する重要なイベント。土木工事現場の近隣住民、工事関係者たちの「信頼」を得て、一緒に笑顔で写真を撮り、年一回、最高の笑顔を表彰する。2016年、この笑顔コンテストで最優秀を受賞したのが田中裕行現場代理人。